明治小学校　学校だより　Ｎｏ．３５８　　平成30年3月13日 上越市立明治小学校

大池

文責　　校長　小林　芳宏
☎　０２５－５３０－２４０６
FAX ０２５－５３０－４２３４
http://www.meiji.jorne.ed.jp/
E-mail → meiji@jorne.or.jp

2/27　29年度第3回学校運営協議会の報告

本年度第３回の学校運営協議会が開催されました。今回は、平成29年度の総括となる会です。今年度の明治小学校の教育活動について、以下に示したデータなどをお示しして、その成果や課題を話し合いました。

次ページの「いきいき明治っ子アンケート結果」の抜粋を、7月と12月を比較してご覧ください。

＜児童アンケート＞

ほとんどの項目で、７月よりも高い評価となりました。学校に楽しく登校し、学習に、友達とのかかわりに一生懸命取り組んでいる様子がうかがえます。特に、項目２「授業の時間になったら、席について教科書やノートを出している」が９ポイントもアップしました。授業規律がしっかりと守られていることが、授業がよく分かることに結びつき、学力向上につながります。項目４「分からないことがあると、先生や友達によく質問する」と項目８「学習の中から疑問を見つけ、進んで調べたり、まとめたりしている」が下がってきました。分かる喜びをより味わわせ、分かりたくなる授業や学習の実施に努め、さらに学力向上を図ります。併せて、読書量を増やす取組にも力を入れていきます。

いじめや暴力はほぼなくなりましたが、皆無ではありません。つらい思いをしている子どもがいることを真摯に受け止め、すべての子どもが安心して学校生活を送れるよう、これからも、当校の「いじめ防止基本方針」に基づき、次のように指導していきます。

① 正しいこととやってはいけないことを明確にし、規範意識を高める。
② 子どもたちが自分の力を十分発揮して、自分に自信をもてるようにする。
③ 相手の立場に立って、思いやる心、人の心の痛みが分かる心の教育を推進する。

＜保護者アンケート＞

24項目中９項目で100%の評価をいただくなど、学校の教育活動に対して肯定的な高い評価をしていただくことができました。これを励みに、これからも職員一同努力していきたいと思います。

ただ、児童のアンケートと同様に、家庭での読書が低い数値となっています。アウトメディアの取組と併せて、読書習慣の形成に取り組んでいきます。

家庭でじっくりと机に向かう習慣を身に付けること、メディア利用の時間制限の約束を守り、望ましい生活リズムを確立すること、低学年の頃から、お手伝いなどを含めた習慣をきちんと身に付けさせていくことが子どもたちの成長の基盤となります。これからも、家庭と連携しながらＭＫＢ等の取組に工夫を加えて参ります。

学校運営協議会での主なご意見

〇学校の取組内容、データの分析等について賛同していただきました。

〇そのほか、次のようなご意見をいただきましたので紹介します。

・コミュニティスクール導入６年間を振り返って、「支援交流会」「にじいろガーデン」「のろし上げ」などへの参画意識をさらに高めたい。参加する方々が固定化してきているので声掛けを大事にして、できるだけ参加していただけるようにしたい。ＰＴＡの役員だけでなく、多くの保護者の皆さんにも是非参加していただきたい。

・「支援交流会」に多数来ていただけるのはとてもよいことである。（前年度より参加者が増加）30年度も働きかけを続け、より多くの方から参加していただきたい。

・地域におけるあいさつが、あまりよくないところがある。子どもが地域の人とふれあう場面を大切にし、互いに分かり合うことでつながりを深め、あいさつの輪を広げる。

・森本地区で夏休みのラジオ体操を実施したところ、保護者や地域の皆さんの協力でたいへんうまくいった。今後、これを広げていきたい。

今後の方向

・学校の取組や、学校運営協議会の活動について、保護者・地域の皆さんに、より関心をもっていただけるよう、各種会合や学校だより等で分かりやすくお知らせしていく。

・学校の様子をムービーにして地域に知らせることで、学校への来校者や協力者を増やしていく。

・遠足･運動会･のろし上げ･クリーン作戦など、地域の皆さんとの交流する場を大事にすることによって互いのつながりを深め、「地域コミュニティの拠点としての明治小学校」の実現を目指す。

・来年度、明治保育園長さんから委員になっていただき、保･小の連携をさらに進める。

3/5　感動の涙　頸城中学校卒業式

頸城中学校の卒業式に出席させていただきました。整然としたすばらしい中学生の姿、厳粛な雰囲気に包まれた会場、卒業生を祝う多くの人々のあたたかい気持ちなど、愛情がいっぱい詰まった素晴らしい卒業式でした。

在校生代表からは、先輩たちへの感謝と受け継いだ伝統を守り続けたいという思いが述べられました。

また、卒業生代表の加藤広晴さん（明治小学校出身）からは、「中学校生活で感じた熱い思いや仲間を大切にする心、これから歩んでいく道に向かっての決意」が大変力強く述べられ、大きな感銘を受けました。最後は、卒業記念合唱です。卒業生全員がステージ前に立ち、森山直太朗の「さくら」を合唱しました。３年間の授業や部活動、生徒会活動等、様々な場面で頑張ってきたことを物語る、とても美しく、力強く、感動的な歌に心を打たれました。たくましく成長した姿、一生懸命な姿に思わず涙があふれました。

当校もまもなく卒業式を迎えます。６年生が、あんな立派な中学生に成長し、将来大人になって、地域に根ざした大きな花を咲かせることができるよう、これからも小中学校が連携し、地域とともに子どもたちを育んでいきたいと感じました。

2/28 全校朝会でこんな話をしました。

まだ限界ではない

皆さんが生活している中で、私がよく耳にする言葉の中に、「ムリ！」というものがあります。校長室に来ていろいろな問題に挑戦する人たちの会話の中にも、ときどき出てきます。勉強や運動をする中で、ちょっと難しいことがあるとすぐに「ムリ!」と言ってあきらめてしまう人はいませんか。

私たちにたった一つずつだけ与えられたこの尊い命。その尊い命によって動かされている私たち人間の身体は、実は６０兆個という気の遠くなるようなたくさんの細胞が、神わざとでもいうべき巧みさで組み合わされて、その調和のとれたはたらきによってみごとに成り立っているということです。

中でも、そのすばらしさがきわだっているところが、頭の中の大脳の表面である大脳皮質と呼ばれるところです。そこには約１４０億個もの神経細胞がぎっしりと詰まっていて、それらが絶えず複雑な作用をしているため、私たちはいろいろなことを考えることができるのです。

しかし、その１４０億個の細胞は、まず普通の人の場合、はたらいているのはそのごく一部で、アインシュタインのような“天才”といわれている人でも、いまだかつてその細胞全部を使い切った人はいないということです。

そういうことであれば、お互いに「もうこれしか考えられない」とか、「これこそ絶対だ」とか、「自分の考えだけが正しくて、それ以外はすべて間違いだ」などと、そう軽々しく言ってはいけないような気がします。

私たちの頭のはたらきは、まだまだ限界までなんかきていないのです。もっともっと頭を使って、脳細胞を鍛えていきましょう。そして、自分の能力をもっともっと高めていってほしいと思います。

＜明治っ子の活躍　各種コンクール審査結果＞

上国連主催
書写技能認定
書き初め会
審査結果

会長賞６人というのは快挙です。おめでとうございます！

【会長賞】	３年生	小山	実莉愛	水澤　陽彩
【会長賞】	４年生	吉村	優花	
【会長賞】	５年生	藤澤	由姫	松縄　ひなた
【会長賞】	６年生	加藤	彩	

●３月下旬～4月上旬の予定

３月14日（水）卒業式練習
16日（金）地区児童会、一斉下校
22日（木）終業式
23日（金）卒業式
26日（月）離任式

４月6日（金）新任式、始業式
9日（月）入学式
11日（水）交通安全教室
12日（木）１年生給食開始
地区児童会、集団下校
13日（金）発育測定、委員会

（新年度については、後日改めて配布される予定表でご確認をお願いします。）

禁煙ポスターコンクール（小学校１～３年生の部）

＜佳作＞　　３年生　　武藤　　稜

「たばこの煙のない環境づくり」をテーマに、県内の学校から１４２作品の応募がありました。小学校１～３年生の部では一番いい賞をいただきました。

上越信金小学生図画展覧会

＜金賞＞　　４年生　　松縄　ひなた

＜銀賞＞　　５年生　　晒科　芭留

＜銅賞＞　　２年生　　小山　実莉愛、　１年生　　加藤　ひかり

市内４９の小学校から４８９点の応募がありました。その中での入賞です。